

じんけんネット吹田 この1年

- 4 ※役員・常任委員会(4・7・11月)
- 5 ※総会・憲法と市民のつどい(5月)



憲法と市民のつどい
水谷 修さん

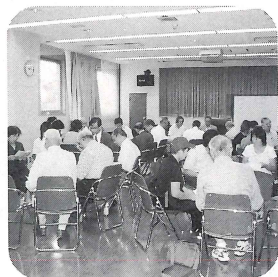
5月27日(土)メイシアター中ホールにおいて「憲法と市民のつどい」を開催しました。『歌とアンサンブル』ではすばらしいクラシック音楽を演奏していただき、水谷 修さんには『いいもんだよ、生きるって』と題して講演していただきました。会場は多くの参加者で一杯でした。



アンサンブルコンサート
藤原・谷川・中山・白井さん

※代表研修会(9月)

9月24日(日)、男女共同参画センターにおいて、地区代表さんを中心に研修会を実施しました。吹田市人権啓発推進協議会会長の山本冬彦さんの挨拶に始まり、ビデオ『人権入門「日常から考える10のヒント」』を鑑賞。その後、各グループに分かれ交流を深め、情報交換会では「活性化」のための意見や今後の地区活動に向けての課題などを話し合いました。



6 ※協力企業部会活動(4・6月)

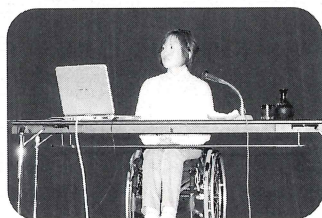
- ※4月25日(火)講演
「人権問題の基本的理解」
講師 安藤 正彦さん
- ※6月20日(火)講演
「人権の視点から見た労働問題あれこれ」
講師 上田 雄二さん



第18回人権啓発
主役・吹田市人権啓発推進協議会 吹田



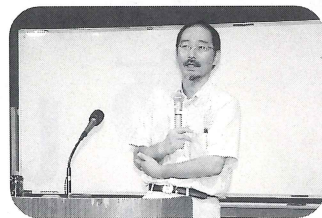
9 ※臨時常任委員会(9月) ※市民ひゅーまんセミナー(9月)



「車椅子から青空が見える」
松上 京子さん



「馬頭琴とモンゴル民謡のひとつとき」
ホトランガさん(馬頭琴) 鷲野 彰子さん(ピアノ)



「在日コリアンと生野コリアタウン」
宋 悟さん



「被差別民の民俗と芸能」
沖浦 和光さん

9月4日(月)・7日(木)・11日(月)・28日(木)の4日間、人権に関わる様々な課題について市民の皆さんと学習しました。参加者の皆さんからは「馬頭琴の演奏はモンゴルの情景が浮かんだ」「人権についての歴史理解が深められた」「ハンディキャップを感じさせない生き方に感銘した」など、多くの感想が寄せられました。

※臨時総会(12月)

12月10日(日)、メイシアター集会室で臨時総会を開催。山本会長より、「人権協活性化に向けての規約改正案」について提案があり、承認されました。次年度からは活性化のための企画委員会、広報委員会が新たに組織されることになります。



10 ※地域安全・青少年育成吹田市民大会(10月)

12 ※駅頭啓発活動(12月) ※人権フェスティバル(12月)

2 ※役員・常任委員会(2月)

発行 / 吹田市人権啓発推進協議会

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

TEL (06) 6384-1539 FAX (06) 6368-7345

(再生紙を使用しています)



No.22

平成19年(2007年)3月



木藤潮香さんの講演



ROOTS(ルーツ)&太田愛さんの演奏
【太田愛さん:平野有希さん:天満俊秀さん】

2006 人権フェスティバル

会場:メイシアター 中ホール

12月10日(日)メイシアター中ホールにおいて、『2006 人権フェスティバル』を開催しました。セレモニーに続いて、ROOTS(ルーツ)&太田愛さん(ギター:天満 俊秀さん、ヴァイオリン:平野 有希さん、フルート:太田 愛さん)に「アイルランド、イギリスの伝統音楽」を演奏していただきました。会場には楽器の美しい音色が響きわたり心が癒されました。

続いて、木藤 潮香さんに、「ひとつしかない命〜1リットルの涙〜」と題してご講演いただきました。難病にも負けず夢を持ち強く生きようとする娘・亜也さん(15歳で脊髄小脳変性症という難病にかかり、やがては25歳で旅立つ。)の命に寄り添い、愛で包んだお話は感動的で多くの方の涙を誘いました。



(江坂大池地区委員会)

「人と防災未来センター・神戸港震災メモリアルパーク」見学会

昨年12月7日(木)に32名が参加して、施設見学会を実施しました。

防災未来館では、迫力ある大画面の震災映像を見て、犠牲になられた六千余名の方々のご冥福を祈らずにはおれませんでした。

その後、年配の女性語り部の方に自らの体験を生で、語ってもらい地震の怖さを知るとともに、息子さんを亡くされた無念さに思わず涙してしまいました。

今回の研修を機に、震災時を想定し、身の回りのできることを、助け合うことを、改めて考えなくてはと思った次第です。参加者にとってたいへん有意義な研修の一日となりました。

(江坂大池地区委員会 寺辻健治)



(竹見台・南竹見台地区委員会)

「表現のコラボで広がる交流の輪：手話コーラス」発表会

地区公民館と共催し、本年度も11月の文化祭での発表も視野に入れ手話コーラスに取り組みました。コーラスと組み合わせることで、手話を分かりやすく理解し、聴覚障害者の方とも交流を深められます。楽しく歌うことをモットーに、ここ10年来の恒例行事になっています。

手話は平居としこさん、道添洋子さんにコーラスは福田美保さんの各先生方にご指導いただきました。衰えつつある記憶力(平均年齢60歳?)と奮闘しながら、6回の講座で2～3曲マスターしています。レパートリーも随分増えました。大勢の観客を前にして発表することは、手話コーラスをマスターした30人だけでなく、参加した人々と深い感動と共感をともに共有できるよい機会でした。

(吹一地区委員会 西尾洋子)



(吹一地区委員会)

講演会「タイの津波後の子どもたちの現状と活動」

10月16日(月)、竹見台中学校体育館に於いてプラティーブ・ウンソンタム・秦様にお話をいただきました。タイの津波の恐ろしさ、親と離れた子どもや亡くなられた方が大勢いることをお聞きしました。各国からの支援を受け、無くなった学校を建てるために努力されています。貧困がもたらす家庭崩壊、虐待、非行、麻薬、覚せい剤等でつまづいている青少年女達を豊かな自然の中で共同生活をさせながら立ち直らせて、もう一度社会復帰させる施設である、「生き直しの学校」をタイ国南部の山中と西部の平原に建立されています。

今後もアジアの子ども達の人権を守り、共に生き共に学ぶことを痛感しました。

(南竹見台地区委員会 塩見孝子)

「ATCエイジレスセンター・リバティおおさか」見学会

11月30日(木)に地区公民館と共催で施設見学会を行いました。ATCエイジレスセンターには、広いフロアに健康・福祉・介護などの機器がたくさん展示されているのに驚きました。椅子やキッチンの昇降を見学し、電動車いすに試乗したり、様々な体験ができました。参加者からは「これは役立ちますね。」という声が上がっていました。

リバティおおさは、2005年12月にリニューアルされ、昨今問題になっているいじめについても取り上げられていました。

人権強調月間の行事として、有意義な一日でした。

(千里新田地区委員会 山中裕子)



(高野台地区委員会)

「立命館大学国際平和ミュージアム・龍安寺」見学会

12月6日(水)、立命館大学のキャンパスの少し離れた閑静な場所にある国際平和ミュージアムを見学しました。入った所の正面に手塚治虫さんの作品『火の鳥』の中で、宇宙にみなぎる生命と精一杯生きていくものたちの過去と未来をうたいあげた壁画が目に入りました。

館内には展示パネルがたくさん設置されており、「みて・かんじて・かんがえて・その一步をふみだそう」のテーマの如く、平和な社会の実現に向けて、人間らしく、生きること努力することが求められていました。また、ボランティアの方の案内も非常に丁寧で、分かりやすく説明をいただき、時間がもっとほしいくらいでした。午後も含め有意義な施設見学会でした。

(高野台地区委員会 宮本 眸)



(千里新田地区委員会)